

1.4 競合製品調査（1/6）

■ 競合製品（EMR・会計ソフト）（1/2）

①システム設計：現地の医療機関で使われている既存の製品（EMR・会計ソフト）は、主に医療機関内の診療・会計業務の効率化を目的として設計されたシステムであり、営業ツールとしての活用や地域薬局との情報連携は想定されていない。また、EMRにおいては医師が使うことが想定されておらず、データの蓄積のみを目的としている。一方、miup社製品は、1）EMRそのものがデータ蓄積だけではなく、各患者のデータを体系的に保存し、医師による容易な呼び出しを可能とする。2）地域薬局からの患者紹介機能により、営業ツールとしても活用できる、3）薬局で収集される医療情報もEMRに反映される（より詳細な患者情報の把握が可能となる）、4）患者固有の携帯電話番号と氏名により、個人を特定することで診療記録の一元管理が可能、という点において優位性がある。

②データ共有手段：miup社製品はクラウド型サービスを提供し、医療文書情報のデータ連携を標準化する国際規格のFHIRを導入していることから、ハードの導入が不要、データの交換や比較が容易等といった利点がある。

③価格：miup社のEMRは有料で医療機関に提供することで対価を得るビジネスモデルである。一方、競合製品は、病院規模に応じてモジュールが存在する。ある中核病院ではすべてのモジュールを利用して導入費に3,500万円以上、月額15万円以上がかかる。また、EMRはモジュール中のHIS(Hospital Information System)内に含まれる。

1.4 競合製品調査（2/6）

表4. EMRに関する競合製品の分析①

		miup社製品	競合製品	
			EMR	会計ソフト
①	機能1. 基本機能	会計、患者受付・登録、診察予約管理	なし	会計、患者受付・登録、診察予約管理
	機能2. コア機能	診療記録（検査記録、処方箋情報を含む）	診療記録（検査記録、処方箋情報を含む）	なし
	機能3. 付加価値機能	薬局からの患者紹介、薬局で収集される医療情報の収集（リスクアセスメント結果、投薬記録など）	なし	なし
②	データ共有手段	・クラウド型 ・FHIRの活用	・クラウド型 ・FHIR未活用	なし
③	価格	有料	・有料(会計システムの一部として)	・有料

1.4 競合製品調査（3/6）

■ 競合製品（EMR・会計ソフト）（2/2）

バングラデシュにおいて、競合製品（EMR及び会計システム）を提供する代表的な会社は以下の通り。

表5. EMRに関する競合製品の分析②

会社名		Mysoft	AVA Information Technology	Logic Software
概要		2008年設立のソフトウェア開発会社。ヘルスケア、繊維、製造、e-コマースの領域におけるITソリューションを提供している。ヘルスケアの分野では、病院情報システム、臨床検査情報システム、放射線情報システム、内視鏡画像処理・レポートシステムなど、幅広いソフトウェアを提供している。LABAID Specialized Hospital、Evercare Hospitalをはじめ、100社以上の販売実績を有している。	2020年設立のソフトウェア開発会社。EMRを含む病院情報管理システムのほか、様々な業界向けにERPソリューション、会計・在庫管理ソフトウェア、人事管理システム、病院情報管理システム、CRM（顧客関係管理）ソフトウェア、学校管理ソフトウェアなどを提供している。ヘルスケア分野の他、既製服（RMG）・繊維、金融、教育、メディア、小売、自動車など多様な分野で165社の顧客を有する。	2010年設立のソフトウェア開発会社。ヘルスケア、既製服（RMG）・繊維産業、日用消費財、政府機関、不動産、電力セクターなど様々な業界向けのITソリューションを提供している。EMRを含む病院情報管理システムのほか、ERPソリューション、税務業務管理ソフト、人事給与システム、会計システム、固定資産管理システムなどを提供している。
取扱製品	会計ソフト	○	○	×
	EMR	△	-	○

*MySoftにおいては、患者個人に紐づく診療データの保存がされているものの、それら情報が医師による利活用が前提とされていないことから広義のEMRという意味で△としている。

*また、Logic Softwareにおいては、軍関係者のみを対象にした無料の医療サービスを提供する空軍病院における会計システムを含まないEMRのみを提供している。こちらのEMRにおいてはその他病院に対する利用はされていない事を確認済みである。

1.4 競合製品調査（4/6）

■ 競合製品（PHR）（1/2）

- ①管理可能な情報：miup社製品はリスクアセスメント結果や投薬記録など薬局で収集される医療情報も管理可能な点に特徴がある。バングラデシュでは薬局が一般的に患者の最初の接点となっており、薬局で取得できる情報も多いことから、患者の自己健康管理に役立てることができる。
- ②入力項目：既存のPHRでは単純なテキスト及びファイルの記録に対し、miup社製品は構造化された医療情報の国際規格を用い相互運用性、リアルワールドデータとしての有用性に優れる。
- ③入力方法：競合製品は、患者自身で情報をアップデートする必要があり、同時に医療従事者によるアップロードも可能であるものの、インセンティブ設計の観点から医療機関にとっては負荷が大きく、実質入力が進んでいない状況である。その点、miup社製品は、EMRからデータが自動反映され、患者自身でアップロードする必要はない。
- ④データ共有手段：前述のとおり、miup社製品はクラウド型サービスであるほか、FHIRを使用しデータ交換や比較が容易となっている。
- ⑤価格：競合製品は無料で利用できるサービスに制限がある一方、miup社製品は無料で利用可能であり、価格面での優位性が高い。

1.4 競合製品調査（5/6）

表6. PHRに関する競合製品の分析①

		miup社製品	競合製品
①	管理可能な情報	1. 医療機関、2. 個人、3. 薬局から収集される情報	1. 医療機関、2. 個人から収集される情報
②	入力項目	診療記録、体重、脈拍、血圧、リスクアセスメント結果など	名前、年齢、性別、電話番号、メールアドレス、地域、血液型を含む患者基本情報と患者自身が入力する写真データ
③	入力方法	<ul style="list-style-type: none"> ・ EMRによるデータの自動反映 ・ 患者によるアップロードも可能 	患者や医療従事者によるアップロードが必要
④	データ共有手段	<ul style="list-style-type: none"> ・ クラウド型 ・ FHIRの活用 	<ul style="list-style-type: none"> ・ データストレージ方法は未確認 ・ FHIRの未活用
⑤	価格	無料	一部有料

1.4 競合製品調査（6/6）

■ 競合製品（PHR）（2/2）

バングラデシュにおける代表的な競合製品（PHR）は以下の通り。

表7. PHRに関する競合製品の分析②

サービス名		Daktarbhai	My Health Portal
概要		2019年サービス提供開始。大手通信会社 Banglalink社がHealthcare Information System社と共同開発したヘルスケアプラットフォーム。2,500名以上の医師が登録しており、利用者はPHRのほか、医師の予約・診察や医師への健康に関する一般的な質問、健康に役立つ情報コンテンツ閲覧、投薬・睡眠リマインダー、医療保険やメンバーシップ割引などを利用できる。	HEALTHx社が運営するヘルスケアプラットフォーム。プライマリーヘルスケアと必須ヘルスケアサービスのためのワンストップデジタルソリューションを提供。100名以上の医師が登録しており、利用者はPHRの他、医師の予約・診察、医薬品の購入、ラボ検査の予約、看護師、介助者、理学療法士の在宅介護の予約などを行うことができる。
PHR機能	医療機関で収集される医療情報	○	○
	個人で収集される健康情報	○	○
	薬局で収集される健康情報	×	×
その他サービス		<ul style="list-style-type: none"> 医師の予約・診察 医師への健康に関する一般的な質問 健康に役立つ情報コンテンツ 投薬・睡眠リマインダー 医療保険 メンバーシップ割引 	<ul style="list-style-type: none"> 医師の予約・診察 ラボ検査の予約 看護師、介助者、理学療法士の在宅介護予約 医薬品の購入 医療保険 メンバーシップ割引
価格		<ul style="list-style-type: none"> 一部有料（医師の予約・診察、医療保険、メンバーシップ割引など） 66.63タカ～（1か月/人） 	<ul style="list-style-type: none"> 一部有料（PHRのデータ無制限保存、24時間365日の医師とのオンライン診察など） 99タカ～（1か月/人）